

かわせみ通信

発行：神奈川県自然環境保全センター
自然保護課

住所：神奈川県厚木市七沢657

TEL：046-248-6682

※野外施設の情報は、ホームページでも紹介しています。

野外施設自然情報

自然環境保全センター 生き物

検索

自然環境保全センターの野外施設には、身近な自然を観察できる自然観察園（昭和57年オープン）と、樹木一つ一つをじっくり観察できる樹木観察園（旧林業試験場時代の約50年前に整備）があります。

野外施設では、それぞれの季節に、生き物同士の巧みなつながりや、興味深い生命活動など、大自然の不思議な現象にふれることができます。

この「かわせみ通信」では、野外施設の出来事や生き物たちの様子を紹介しています。

●最近の話題●

<出会いは雨上がりに>

10月は雨の日が多い印象でした。雨の日、来園者はほとんどいないのですが、私たちスタッフはちょっとわくわくしながら自然観察園を巡ります。雨の日や雨上がりには、森に潜んでいて春の繁殖期以外はなかなか出会えないカエルたちが動き出すからです。比較的好くみられるのがアズマヒキガエルとヤマアカガエル。地面と同色なので、うっかり踏んでしまいそうになります。繁殖期であっても声だけで姿はなかなか見られないタゴガエルやシュレーゲルアオガエルともなれば、思いがけずのうれしい出会いです。出会ってもうれしくないヤマビルに注意しながら、雨上がりの自然観察園を歩くのは楽しいものです。



アズマヒキガエル

東日本に住むヒキガエル。園内では毎年3月下旬に一斉に抱接産卵を行い、5月上旬に小さなカエルになって一斉に上陸します。



ヤマアカガエル

山地に多いアカガエル。外敵の少ない真冬の2月頃、寒さの緩んだ日を狙って池に集まり抱接産卵を行います。



タゴガエル

溪流近くにすむアカガエル。伏流水で産卵を行うため、なかなか姿は見えません。4～5月に「グググ」と控えめな鳴き声が聞こえます。



シュレーゲルアオガエル

オランダの学者が名前の由来で、れっきとした在来種。水際に泡状の卵塊を作ります。4月～5月に「コロコロコロ…」という鳴き声が聞こえます。

<台風後にも>

この秋に襲来した二つの強い台風では、野外施設は樹木の風倒や枝折れなどの被害を受けました。雨の強かった19号では谷戸に大量の水が流れたようで、土砂が流され、草がなぎ倒されていました。荒々しい自然の猛威にさらされた時、生き物たちはどうしているのかと心配していると、のそのそと動く姿が。最近見かけなかったニホンイシガメです。上流の池から流されてきたのかもしれません。自然観察園で命をつないでいることが確認できて、うれしい台風一過でした。



ニホンイシガメ。神奈川県では絶滅危惧Ⅰ類

<サンコウチョウの子育て>

7月に園内でサンコウチョウの子育てが確認され、わずか2週間という短い期間で2羽のヒナが巣



立ちました。来園者の方が記録した動画を本館展示室で見ることができます。

<池の外來種駆除と生き物観察>

10月20日、丹沢大山ボランティアネットワーク主催の「池の外來種駆除と生き物観察」が池2で行われました。台風19号の後で池の水は多めでしたが、無事に開催できました。今回捕獲された外來種は、アメリカザリガニ、ブルーギル、コイ。ブルーギルは昨年のような稚魚だけでなく、10cm以上もある成魚が何匹も捕獲されました。特筆すべきはコイです。全長60cm超の大きなもの2匹、小ぶりなもの1匹を参加者が一致団結して追い込んだすえにやっとのことで捕まえました。コイは大食漢で、魚の稚魚や水生昆虫などを丸飲みしていたと思われます。今回コイを取り除いたことで、池のなかの勢力図が変わるかもしれません。引き続き注視していきたいと思います。

在來種は昨年より種類数が少なく、メダカやヌカエビがみられませんでした。園内では希少なオオヤマトンボのヤゴがみられました。外來種が多いこの池はヤゴにとっては少々過酷な状況のようですが、よくぞ生き残っていてくれました。その他、隣を流れるたたら沢ではモクズガニも観察されました。モクズガニは海と川を往来する回遊性の生物で、秋から冬には産卵のため海に下り、海で生まれた子どもは成長しながら川を遡上します。海からはるばるこの自然観察園のたたら沢までやってきたモクズガニの旅路に一同想いを馳せました。

令和元年

<ザリガニバスターズ結果報告>

今年も9月いっぱいザリガニバスターズが終了しました。
参加人数：延べ1084人
ザリガニ捕獲数：3677匹
昨年に比べ903匹減でした。
ご協力ありがとうございました！



コイ囲い込み作戦！



モクズガニ



大きなコイ
力が強く暴れるので、桶に入れるのも苦労

捕獲した生き物

- ・モツゴ (206匹)
- ・クロダハゼ (ヨシノボリ的一种) (37匹)
- ・オオヤマトンボのヤゴ (1匹)
- ・コシアキトンボのヤゴ (5匹)
- ・アメリカザリガニ (82匹)
- ・ブルーギル (98匹)
- ・コイ (3匹)



オオヤマトンボのヤゴ

●野外施設の管理●

<カシノナガキクイムシ>

10月に園内のコナラの木5本を伐採しました。カシノナガキクイムシという昆虫が侵入したためです。カシノナガキクイムシはナラやカシの木に穴をあけ、中で菌を栽培し、幼虫のエサにします。この虫が媒介する「ナラ菌」によって、「ナラ枯れ」という病気になる、木が枯れてしまうことがあります。自然観察園のようにかつては薪炭林として定期的に伐採されていた木が伐採されなくなり、成長が進み幹が太くなった木はカシノナガキクイムシの繁殖にとって適した環境になってしまい、県内各地でも問題になっています。

カシノナガキクイムシの拡大を防ぐために、侵入した木を伐採し、薬剤をしみ込ませて燻蒸処理をしました。



虫が侵入した木は根元に木くず(フラス)が見られます



伐採後、薬剤をかけ2週間密閉

傷病鳥獣救護の情報

※救護の情報やバックナンバーは、ホームページで見られます。

神奈川県 野生動物救護 検索

自然環境保全センター（旧自然保護センター）では、傷病鳥獣の救護業務として、県民の方により持ち込まれた県内の傷ついたり弱ったりした野生動物（鳥類と哺乳類の一部）を収容し、必要に応じて治療やリハビリを行い、野生に戻す業務を昭和53年（1978年）から行っています。この「かわせみ通信」では、持ち込まれた野生動物の「救護原因」や「リハビリ状況」などの情報を掲載しています。

● 2019年7月～9月の報告 ●

< 受け入れ状況 >

※ ヒトが関わる「主な救護原因」の項目について記載しました。

受付件数の多かった上位種			< 鳥 類 >		< 哺乳類 >	
			主な救護原因	件数	主な救護原因	件数
1位	ツバメ	24 件	ガラス窓などへの衝突	21 件	疥癬症(かいせんしょう)	3 件
2位	スズメ	14 件	ネコなどに襲われる	9 件	交通事故	2 件
3位	キジバト	11 件	釣り糸(針)や防鳥ネットなどに絡む	4 件	誤認保護	1 件
4位	タヌキ	7 件	誤認保護	3 件		
5位	ヒヨドリ	6 件	交通事故	3 件		
			粘着剤に絡む	3 件		

< 活動内容 >

9/11～13 大学生実習受け入れ（実習生：1名）

9/29 野生動物救護ボランティア講習会修了式（新規登録者：43名）

9/29 野生動物救護ボランティア研修会（参加者：65名）

● ボランティア活動の紹介 ● Vol.4

今回は、ボランティア歴3年のAさんにお話を伺いました。

Q: ボランティアになったきっかけは？

A: 救護動物特別公開(*)を見学して興味をもちました。

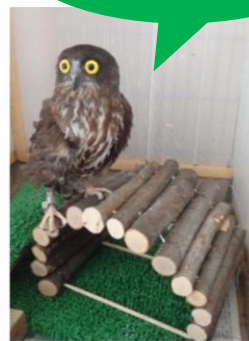
Q: 傷病鳥獣救護のボランティアをする中で、普段ここがけていることはありますか？

A: 野生に帰す動物なので、あまり人になつけない様にと、早く自然に帰したいので、自然にある環境を用意することをここがけています。

Q: 好きな野生動物は？

A: アオバズク、ムササビ、チョウゲンボウ…書ききれません（笑）

最近、Aさんが作ってくれました♪ありがとう！
by アオバズク



Q: ↑ 上の2枚の写真について紹介してください。

A: 台風15号の際、傷病舎の周囲で普段手に入らない太い木や枝木が大量に回収されたので、利用方法を考えました。
細い枝は止まり木にしてみました。

枝に穴をあけて、その穴に針金を通してアーチ状になるように作っていただきました。身近なものから動物に役立つものを考えて作ってくださり、ありがとうございます。

救護動物特別公開(*)
年2回、救護の様子を一部公開して見学できるイベント

傷病舎に台風のツメ跡が...

大枝が!

2019年9月8日から9日にかけて通過した台風15号。直撃ではなかったものの、9日の朝、見回してみると倒木かと思うほどの大きな枝が折れて、トビの獣舎にドッシリとのしかかっているのを発見! 幸い、中のトビたちは無事でしたが、獣舎がいつ押しつぶされるか...という状態です。

ふう~

その日のうちに、被害のなかった別の獣舎に無事避難しました。

大枝をどう処理するか...

次は大枝の処理です。以前から、強風の時にギー、ギーと鳴っていたのは、多分この枝だったのでしょ。かなりの重量なので、このままにはしておけないということで後日、野外施設の維持管理に携わる専門職員が集まり、処理について作戦会議しました。そこで、**吊るし切り(*)**という手法に決定! 息の合った3人の連携プレーのおかげで、無事にすべての枝を地面に下すことができました。

枝切担当

枝にロープを確実に結んで切り、司令塔の指示に合わせて下降させます。

司令塔担当

ロープをかけた枝が急に落ちないように、また下ろす方向を考えながら、上にいる枝切担当とロープを緩める担当に逐次指示を出します。

ロープ動力担当

ロープを止めたりスピード加減して安全にゆっくりと下降させます。

どうしましょうか

吊るし切りで処理しましょうか

それでやりましょう

吊るし切り(*) 高木などを伐採するのに切った部分を数人でロープコントロールして安全に下降させる方法

もうひとつの出来事

ボランティアのSさんが「受け入れた野生動物のエサになれば」と種をまいて、大切に育ててきた無農薬ヒマワリ。種子収穫の直前になると、いつも風雨などで横倒しになっていました。「今度こそは...」と思っていた今年も台風続きでかなり残念な状態になってしまいました。

全てを抜いて耕すSさん。残念さが背中に...来年こそは!

それでも**37.8g** 収穫! これは、ムササビやニホンリス、種子食の小鳥などのエサとなります。

この度は、ご心配いただいた皆様に深く感謝いたします、とともに被災された多くの方々に心よりお見舞い申し上げます。